

2006年から「勉強お助け隊」で、13か国102人の子どもに日本語と教科を指導

田上栄子：小学校教師として勤務の後、2001年より日本語教師となる。日本語教師として、留学生、ビジネスマン、地域日本語教室コーディネートなど多様な現場に携わる。年少者教育には、小学校教師としての経験をもとに、ライフワークとして取り組んでいる。

麻田 豊：東京外国語大学インド・パキスタン語学科（ウルドゥー語）卒。同大学院修士課程修了。カラチ大学に留学。在カラチ日本総領事館広報文化センター勤務。大阪外国語大学、その後、東京外国語大学で研究教育。2005～07年、印パ両国でウルドゥー語劇「はだしのゲン」を巡回公演。09年、パキスタン大統領より「功労の星」勲章受章。共編に『ウルドゥー語常用6000語』『日本語ウルドゥー語小辞典』、訳書に『パンジャーブ生活文化誌』など。ヒンディー/ウルドゥー語映画の日本語字幕作成にも携わる。

移民コミュニティの言語生活研究会

責任者

福永由佳：2011年より「移民コミュニティの言語生活研究会」を富山市で開催。国立国語研究所日本語教育研究・情報センター研究員。日本語教師を経て、国立国語研究所にて映像教材開発や日本語教育のための調査研究等に携わる。現在は、パキスタン人移民をはじめとする複数言語話者の言語使用の実態に関する研究に取り組む。

共催

トヤマ・ヤポニカ：1990年創立の県下で最初の日本語教育機関。富山県を中心に様々なニーズに対応した日本語教育（大学・高専などの留学生教育、自治体・企業からの委託日本語教育、外国籍年少者教育、日本語教師養成、日本語ボランティア教室立ち上げコーディネート、日本人を対象とした日本語教育普及活動等）を展開する。また、活発な研究活動、教材開発（地域日本語教育のための活動集・漢字教材、年少者教育教材など）を行う。

オブザーバー

岡本勝規（富山高等専門学校）

小林真生（国立民族学博物館）

林さと子（津田塾大学）

福田友子（千葉大学）

磯野英治（首都大学東京）